



ないよう介護予防の重点化と、高齢者が自立した日常生活を営むことが出来るよう生活支援サービスの体制構築に取り組んでまいります。介護保険事業につきましては、平成27年度は、低所得高齢者の介護保険料軽減措置を実施したところであり、平成28年度は、「通い」を中心とした「訪問」や「泊り」を組み合わせた在宅での生活継続を支援する「小規模多機能型居宅介護」について、これまで介護サービス施設がなかった北部地域において新たに整備し、高齢者に寄り添った地域密着型サービスの充実に努めてまいります。

障がい者・障がい児福祉につきましては、平成28年度から「障害者差別解消法」が施行されるに当たり、障がいのある人もない人も共に暮らしやすい社会を目指す啓発活動等の強化を図ってまいります。平成27年度に嘱託職員を配置した「石垣市障がい者基幹相談支援センター」の機能強化に努めてまいります。

また、子供、高齢者、障がい者等の福祉の交流拠点になるとともに、災害時に支援が必要な高齢者や障がい者等の避難所となる施設につきましては、既にその設計を終えたところであり、平成28年度から建設工事に着手してまいります。

健康増進の取組につきましては、「第2次健康いしがき21」を柱に、保健師等による保健指導を始め、生活習慣病の一

品の開発、ものづくり産業に従事する担い手の育成、焼き物の原材料確保の支援などを実施してまいります。また、パイナップル加工施設の実証的な稼働を開始したところであり、平成28年度はその実証結果を基に、農産物の新たな特産品開発を行う仕組みづくりを推進してまいります。

また、本市の知名度とブランド価値向上のため、原付バイク用の「ご当地ナンバープレート」の作成にも取り組んでまいります。

平成27年度から実施している「やいま石垣さんばしマーケット」につきましては、平成28年度においても、具体的な目標を設定した実証実験を引き続き実施した上で、平成29年度以降の常設化に向けて、基本構想の策定等に取り組んでまいります。また、公設市場のリニューアルについても検討を開始してまいります。

農業の振興につきましては、昨年10月の環太平洋戦略的経済連携協定の大筋合意を受け、本市の農業従事者にとっても経営環境の変化に対応し得る農業経営が求められます。

担い手と農地の問題解決を図る「人・農地プラン」の活用や、農地中間管理事業との連携による遊休地や耕作放棄地の解消により、担い手への農地の集積をより一層推進してまいります。同時に、生産物の高価格での取引を目指し、農水産



次予防に向けた取組等に引き続き力を入れてまいります。

生活困窮者支援につきましては、困窮状態からの脱却を目指して、平成27年度からの新たな取組として一時的な就労の場を提供してまいりました。その中には、一般就労へと移行し、自立したケースもあることから、平成28年度もこれを継続し、自立を支援してまいります。また、家庭の経済的な困窮により、子供の学習機会が損なわれることのないよう、生活困窮世帯及び生活保護世帯の中学生を対象に無料学習支援を平成28年度から新たに実施してまいります。

地域の魅力あふれる「いしがき」

4. 活 力

本市のリーディング産業である観光におきましては、その受け入れ基盤の更なる充実を図っていくことが重要です。平成27年度は米原キャンプ場のトイレとシヤワー室を改修しましたが、平成28年度は玉取崎展望台の改修を実施し、観光客の満足度向上に努めてまいります。

スポーツツーリズムの推進につきましては、これまで国内外を問わず、大会や合宿等の誘致活動を行ってまいりました。平成27年度は、U-23サッカー日本代表やサッカー女子日本代表などの合宿、9

物のブランド化や、効果的な販路開拓も併せて、生産から販売まで一体的な取組体制を構築してまいります。

農山漁村の活性化対策につきましては、畑地かんがい施設の再整備地区に、新たに三川地区を追加し、農業所得の向上を目指してまいります。

農地からの赤土流出の防止につきましては、さとうきび収穫後における土地利用の高度化を推進し、甘しよやかぼちゃを中心に輪作による営農対策を実施してまいります。

畜産振興につきましては、子牛のセリにおいて、全国的な子牛不足と枝肉価格の上昇を背景に、過去最高額を記録するなど高値で推移していることから、平成27年度は、緊急優良母牛更新事業において、100頭余りの優良素牛の導入を実施したところであり、平成28年度は、更に約120頭の導入を実施してまいります。また、母牛群の改良を増進し、産地形成に取り組み、生産コストの低減を図るとともに、担い手の育成に努めてまいります。同時に、増頭が急務となつてい

る石垣牛につきましては、100頭規模の肥育牛舎を建設してまいります。

水産業の振興につきましては、災害に強い漁港を目指して、登野城漁港における物揚場の耐震化を図ってまいります。また、民間企業によるアカジン・ミールバ

年目となる千葉ロッテマリーンズのキャンプの受け入れなど、着実な実績を積み重ねてきております。千葉ロッテマリーンズと台湾のラミールゴモンキーズの日台交流戦は、台湾からの応援ツアーが造成されるなど、新たな観光・スポーツ交流の可能性を創出することができました。

今後、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、平成28年度から石垣市体育協会の法人化を行うとともに、民間の活力を最大限に活かしたスポーツツーリズムの推進を図る「石垣スポーツコミッション」の創設に向けた検討を含め、その合宿候補地として受け入れ態勢の整備を図ってまいります。また、平成28年度は、沖縄県中学校陸上競技大会が本市で行われる予定となつており、しっかりと受け入れ態勢を整えてまいります。

スポーツを通じた市民の健康増進、余暇活動の充実のみならず、観光振興にも資する観点から、ゴルフ場は本市にとつて必要なリゾート・レクリエーション施設であると考えております。現在、企業が事業主体となつて、その建設に向けて準備が進められておりますが、本市としては、関係法令に基づき、自然環境にも十分に配慮しながら、その整備に向けて必要な協力をしてまいります。

本市の魅力は、観光、スポーツのみならず、独自性を活かしたものづくりにも潜在しております。平成28年度は、新商

証試験の取組の成果を踏まえ、漁業生産性の向上や漁業経営の安定化を図ってまいります。

水産加工につきましては、ソデイカ、モズク、マグロを活用した新たな加工品製造に着手し、加工製品の付加価値向上に向けて、トップセールスも積極的に展開してまいります。

豊かな風土の中で育つ「いしがき」

5. はぐくむ

平成27年度は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、総合教育会議を開催し、石垣市教育大綱を策定致しました。平成28年度は、教育大綱に定めた方針に基づき、重点的な教育施策等を講じてまいります。

地域全体で学力の向上を図る「冠鷲プロジェクト」の取組につきましては、平成27年度の全国学力テストで、小学校算数Aにおける本市の平均が全国平均を上回るなど、その成果が少しずつ現れてきております。平成28年度は、これまでの取組を継続しつつ、現在参加が少ない中学生の団体への取組を更に強化してまいります。また、教育現場に携わる教員を学力先進地への視察研修に派遣し、学力向上や授業改善に係る取組を充実させ、児